

国会議員

様

「医療・介護総合法案」の廃案と徹底的な審議を求める要請

日ごろからのご活躍に敬意を表します。

深刻化する受診中断と手遅れ死亡事例、介護地獄、引き上げ続けられる保険料と患者・利用者の負担など、社会保障の連続改悪で、医療や介護に対する国民の不満と不安は膨らみ続けています。もはやガマンも限界です。憲法をいかし国の責任で、すべての人に安心の医療・介護を保障することは緊急課題です。

ところが、今国会に提出された「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案（以下、医療・介護総合法案）」は、憲法25条と国民の願いに逆行し、医療・介護難民を新たに作り出す内容となっています。そもそも医療と介護をセットにして法案とすること自体に無理があるのではないのでしょうか。衆議院では、実質的な審議は5日間しか行われず、法案の問題点も参考人質疑等で浮き彫りになりました。にもかかわらず、このまま、十分に審議が行われないまま法案が成立してしまうのか、大いに疑問です。

以上の主旨から、医療・介護現場の声、要求に耳を傾けていただき、下記項目の実現を強く求めます。

【記】

1. 「医療・介護総合法案」を廃案にしてください。
2. 医療・介護をセットにして法案にし、審議することなど、本来ありえないことです。国民および医療・介護現場の声と要求に耳を傾け、一つ一つの法案を切り離して徹底して審議してください。

私のひとこと

○氏名

○住所・団体名